

今治市営桜井海浜ふれあい広場サッカー場人工芝賃貸借業務仕様書

1 概要

① 事業名

今治市営桜井海浜ふれあい広場サッカー場人工芝賃貸借業務

② 業務概要

今治市営桜井海浜ふれあい広場サッカー場の人工芝更新にかかる既存人工芝の撤去及び処分、設置業務（施工（現地調査含む）、メンテナンス（レベリングなど））、ならびに契約期間中の維持管理業務（充填材の補充、修繕）

なお、施工時に下地に深刻な劣化が見つかった場合には、今治市の負担において修繕を行う。
また、契約終了時の撤去処分費用は使用料に含まない。今治市の負担とする。

③ 対象施設

今治市営桜井海浜ふれあい広場サッカー場 今治市桜井甲 1 1 3 0 - 2

④ 人工芝更新期間

【充填材がカラーゴムチップの場合】

契約締結の日から令和7年9月30日までに工事を完了すること。

カラーゴムチップ使用の場合は工期を3か月とする。

【充填材が天然素材の場合】

契約締結の日から令和7年10月31日までに工事を完了すること。

天然素材使用の場合は工期を4か月とする。

⑤ 契約期間

【充填材がカラーゴムチップの場合】

令和7年10月1日から令和14年9月30日まで（84か月）

【充填材が天然素材の場合】

令和7年11月1日から令和14年10月31日まで（84か月）

契約期間終了後の延長契約及び再契約等について、延長時の人工芝劣化状況を踏まえ、双方協議とする。

⑥ 賃貸借物件の数量及び報告

番号	名称	仕様	数量
1	人工芝	「人工芝に関する事項」及び「別紙1 ロングパイル人工芝製品仕様書」による	一式
2	人工芝敷設作業	「設計・施工に関する事項」及び「別紙2 ロングパイル人工芝敷設仕様書」による	一式

賃貸借期間中の報告

番号	名称	仕様	数量
1	人工芝	人工芝の損耗状況報告書の提出（毎年） （様式は各社仕様） ※報告書には、損耗箇所の写真、損耗の程度、修繕の必要性、及び位置図を含むこと	一式

⑦ 人工芝に関する事項

既存人工芝の撤去および処分を行うこと。

人工芝選定にあたっては、以下の項目を満たすこと。

- ・ F I F A クオリティプロの認定を受けたことのあるメーカー、または F I F A クオリティプロと同等以上の基準を満たしているメーカーの人工芝を使用すること。
- ・ 日本国内の他自治体、大学、プロサッカーチームにおいてサッカー場の人工芝として導入実績があるメーカーの製品を使用すること（賃貸借契約か如何かは問わない。工事請負契約でも可とする。）。
- ・ 製品保証期間については、賃貸借期間と同じとすること。
- ・ 契約期間中に通常の使用にも関わらず使用できない状態となった場合には、適用範囲を今治市と協議のうえ対象箇所の修繕または張替えを実施すること。
- ・ 詳細については、「別紙 1 ロングパイル人工芝製品仕様書」による。

⑧ 設計・施工に関する事項

設計・施工にあたっては、以下の項目に留意すること。

- ・ 既存ロングパイル人工芝の撤去及び処分（産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提出すること）、ロングパイル人工芝敷設施工、ライン敷設施工、仮設工（敷鉄板等）を行うものとする。
- ・ 設計・施工にあたる者（受注者または受注者が物件を今治市へ賃貸するために当該業務を受注者の責任で業者へ発注する場合はその発注を受け当該業務を行う業者）は、建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 3 条第 1 項第 2 号の規定による建設業の許可を有するものであること。
 - イ．土木工事一式
 - ロ．舗装工事
- ・ 本工事は、本仕様書のほか、「今治市土木工事共通仕様書」および「今治市土木施工管理基準」等必要と認められる図書に基づいて施工すること。
- ・ 実際の設計・施工にあたり下記のような場合には適宜今治市との協議を行うこと。
 - イ．施工上のリスクや疑義、相違等について、受注者から今治市に通知された場合
 - ロ．再設計が必要となる場合などの追加費用等について
- ・ 詳細については、「別紙 2 ロングパイル人工芝敷設仕様書」による。
- ・ 工事は月曜日から金曜日の平日 8 時から 17 時までとする。また、工程表を事前に今治市担当者へ提出し、承認を得てから工事を行うこと。

⑨ 提出書類

工事の施工にあたり、以下の書類を今治市に提出し、承認を得ること。

なお、今治市土木工事共通仕様書の内容と相違があるものについては、今治市と協議すること。

- イ．使用材料の材料承認願
- ロ．出来形管理図（実際の工数量、面積が分かるもの）
- ハ．品質管理資料（使用材料試験成績表）
- ニ．温度上昇を抑制することがわかる資料

ホ. 製品保証書

ヘ. 工事写真

⑩ 保険

物件には受注者の負担により動産総合保険、または、損害保険等を付保するものとする。

動産総合保険や損害保険等の補償対象となる損害については、当該保険金を上限として、今治市は修繕に係る費用負担を免れるものとする。

なお、保険会社より上限額を記載した見積書を保険契約締結前に今治市へ提出するものとする。

イ. 補償対象となる主な損害

i 火災、落雷、破裂、爆発

ii 風災（暴風、竜巻等の風による損害）

iii 水災（台風、豪雨等による洪水、土砂崩れ、高潮等の自然災害による水害）

ロ. 補償対象外となる主な損害

i 地震、噴火、津波およびこれらに起因する火災等による損害

ii 自然損耗、劣化、性質損（変色、変質、腐敗等）、虫食い等による損害

iii 戦争、変乱、テロ、原子力による損害

iv 損耗品の単独損害

⑪ 損害賠償

今治市は、受注者の責めに帰すべき理由により物件が消失し、または棄損した場合は、賠償の責めを負わないものとする。ただし、今治市の故意または過失による場合は、この限りではない。

⑫ その他

以下の項目については、本事業の対象外とする。

・ 契約期間中の製品保証対象外（下記免責事項）の人工芝の交換及び補修

イ. 今治市がメーカー所定の製品取扱説明書に基づいた使用、必要なメンテナンスを行わなかったことに起因するもの

ロ. 今治市が契約期間中に、製品保証対象外の人工芝への交換及び補修を行ったことに起因するもの

ハ. 天災、地震等の不可抗力によるもの

ニ. 火気の取り扱いに起因するもの

ホ. 故意または過失による人為的要因に起因するもの

ヘ. 車両またはそれに類するものの乗り入れに起因するもの

ト. 薬品、薬物等の付着に起因するもの

チ. 引渡し完了後に実施した他の工事等に起因するもの

リ. 使用による摩耗および微細な糸切れと褐色

ヌ. クレー、石灰等の遺物の混入による汚れおよび固化

ル. 金属スパイク等人工芝に適さないシューズの使用による損傷

ヲ. 集水桝の蓋等、開閉を伴う部分の不具合

ワ. 充填材の消失、または充填材が少なくなった状態で使用し発生した不具合

カ. 藻やカビの発生、枯れ葉や異物の堆積に起因するもの

- ヨ. その他、通常の使用以外に起因するもの
- タ. 製品の損傷等に起因して発生した関節損害（逸失利益、第三者への補償等）
- ・その他定めのない事項については、今治市と協議のうえ、その指示によるものとする。

2. 業務内容

- ① 受注者は本件業務の実施にあたり、関係法令を順守すること。また、今治市から通知を受けた場合は、今治市の指示に従うこと。
- ② 受注者は、契約期間中、人工芝が安全かつ良好な状態を保つよう、技術員を派遣し、法令等に基づき点検、保守を行うこと。なお、その他必要な点検・保守の項目があれば実施すること。
- ③ 受注者は①②の業務完了後、人工芝の利用に問題がないことについて今治市の確認を受けるものとする。
- ④ 受注者は、契約期間中、年1回のブラッシング作業を行うものとする。なお、施工時期については、今治市の担当者と協議すること。
また、必要に応じ充填材補充も実施するものとし、本事業の契約に含むものとする。
- ⑤ 受注者の責めに帰すべき要因により追加で必要性が発生したメンテナンス（部分張替え等）についても本事業の契約に含むものとする。
- ⑥ 受注者は、日常的なメンテナンスに必要な充填材については、1年間に必要となる量を年に1回メンテナンス時に納品すること。
- ⑦ 受注者は、保守点検時に人工芝の不具合を発見したときは、速やかに今治市に通知し指示を受けること。

3. その他

- ① 図面および仕様書の内容に相違のある場合、または疑義が生じた場合には、監督員と協議するものとする。ただし、軽微なものについては、監督員の指示に従うものとする。
- ② 降雨による排水等によって、工事区域より周辺地域への濁水を出さないように工事区域内の排水管理には特に注意すること。
- ③ 受注者は、毎月の使用料を使用月の翌月に請求すること。
- ④ 受注者は、人工芝に関する取扱説明書を提出するとともに、今治市に対し、メンテナンス方法など取扱いに係る説明を行うこと。
- ⑤ 受注者は、メンテナンスや事務手続きなどに関する連絡体制表を作成し、今治市に提出し承認を得ること。
- ⑥ 賃貸借料には、賃貸借物件に係る固定資産税は含まないこと。

以上

別紙 1

ロングパイル人工芝 製品仕様書

本工事に使用する人工芝は下記仕様を全て満たすものとする。

部材	項目	仕様
ショックパッド	素材	ポリエチレン
	厚み	10 mm 以上
人工芝	色	グリーン
	素材	ポリエチレン
	製法	モノフィラメント
	長さ	50 mm 以上
	断面形状	各社仕様
	厚み	350 μ 以上
	総繊度	13,000 d tex 以上
	その他性能	耐紫外線特性を有す
基布		各社仕様
主要ジョイント部		直線部は W=300mm R 部は W=450mm を使用
ジョイントテープ		各社仕様
接着剤		各社仕様
充填材	チップ	温度上昇抑制に優れたもの 天然素材が望ましい 黒色ゴムチップは不可 カラーゴムチップの場合は、比重 1.4 以上の高比重とし、 環境に配慮した流出しにくいものを使用すること
	珪砂	4 号程度
	充填量	珪砂およびチップ共 各社仕様(約 30 mm以上が望ましい)

※上記の組み合わせのシステムで衝撃吸収率 50%以上を有すること

※施工時に外周側溝と人工芝との高さのすりあわせを行うこと

※天然素材を使用する場合は、全面的な補充を下記の内容にて行うこと。

なお、現場の状況により、過不足が生じる場合には今治市の担当者と協議のうえ行うものとする。

・引き渡し後 3 年 : 2 k g / m² (約 4 mm)

・引き渡し後 5 年 : 2 k g / m² (約 4 mm)

・引き渡し後 7 年 : 2 k g / m² (約 4 mm)

※人工芝の生産は国内外問わないが、通常想定されるメンテナンス、部分張替え時に対応できるメーカーの製品を使用すること。

別紙 2

ロングパイル人工芝敷設仕様書

1. 施工条件

- ①人工芝の施工範囲は図面の範囲とする。
- ②排水設備について既設の暗渠排水を利用するものとする。なお、工事中に暗渠排水を損傷しないよう十分注意すること。なお、本業務の施工において暗渠排水を損傷してしまった場合には、今治市と受注者で協議のうえ、受注者の負担において修繕を行うこととする。
- ③サッカー場および駐車場等の構造物に損傷を与えないようにすること。なお、損傷を与えた場合には受注者の責任において現状復旧すること。
- ④安全対策として、資材搬入出時には、施設出入口部の必要と思われる個所に交通誘導員 1 名以上を配置すること。

2. 参考数量

上記施工条件より、当該事業に必要な数量を把握すること。なお、正式な数量は実施設計後確定となるが、断面使用変更等（材料の入手困難や工期の遅延など）に起因する契約金額の変更は行わない。

①施工図面

図面を参照のこと

②人工芝施工厚

ロングパイル人工芝 芝丈 50 mm 以上（充填材厚 30 mm 以上）

【参考値】

既存人工芝の設置状況

ロングパイル人工芝 芝丈約 60 mm 以上（充填厚約 40 mm）

③人工芝

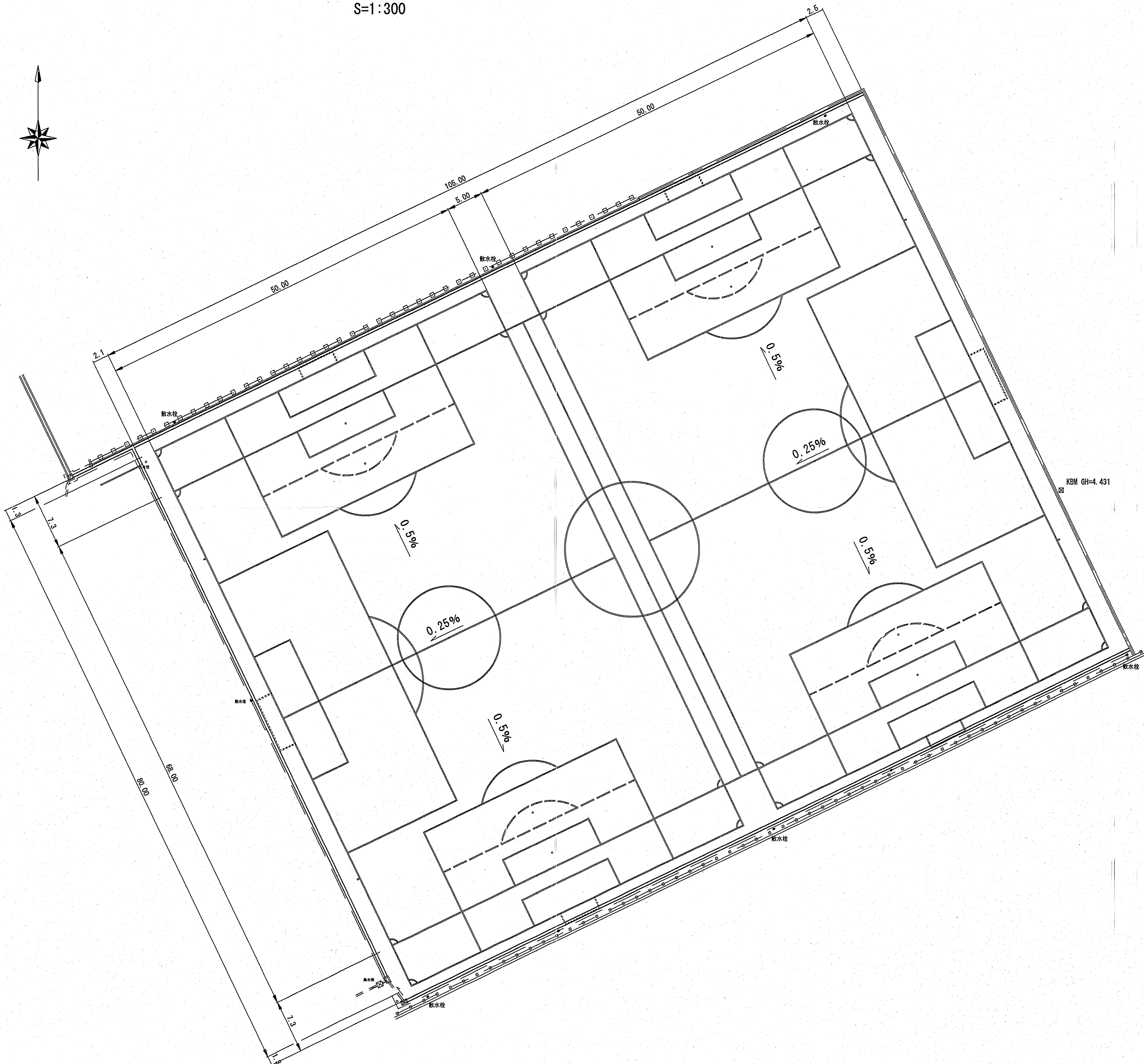
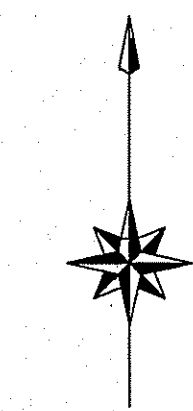
仕様書詳細「人工芝に関する事項」および「別紙 1 ロングパイル人工芝製品仕様書」を参照のこと。

ただし、現地調査の結果に基づき、数量に差異がある場合には変更契約の対象とする。

3. その他

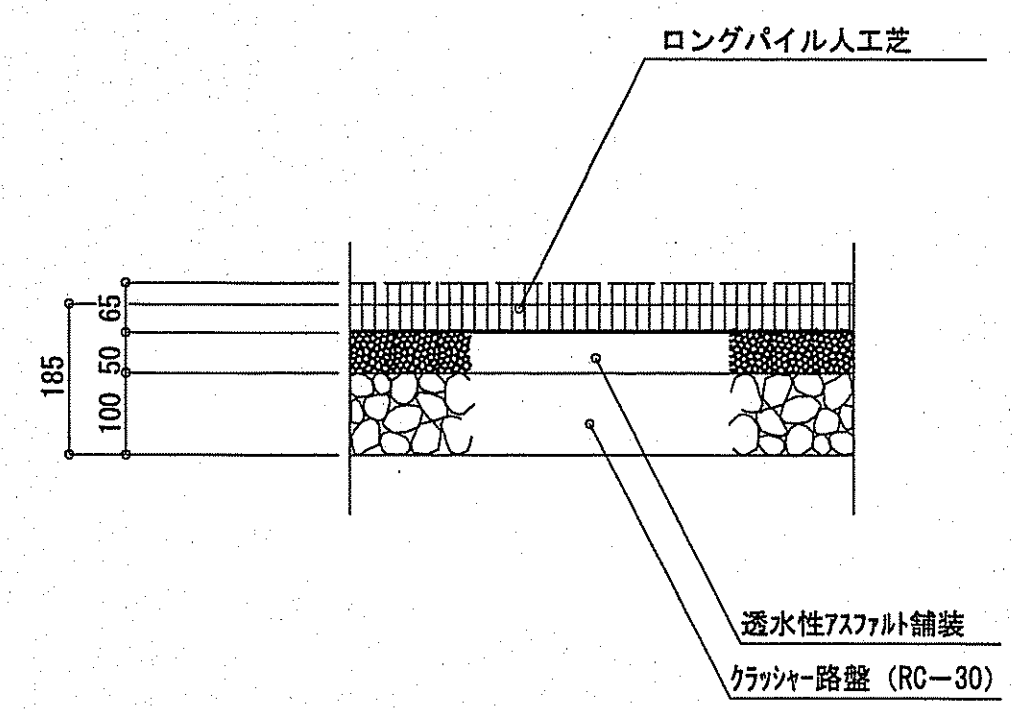
受注者は上記以外に必要なと思われる事項を随時実施する。

平面図
S=1:300



舗装構造詳細

ロングパイル人工芝舗装 S=1:10



愛媛県今治市

施設名称	桜井海浜ふれあい広場サッカー場			
施工地名	今治市 沖浦			
図面名称	平面図 S=1:300		1葉の1号	
年度	平成 21 年度			
責任者	課長	補佐	係長	担当者